

来年度の GHG 排出削減関連の活動(素案)

2020年3月4日
事務局

1. ロードローマップのレビュー・フォローアップ

各代替燃料の実現性や有望性の更なる見極めやレビューをしつつ、ロードローマップの実施のための具体的な戦略(IMO 対応も含む)を検討する。

2. 上記をバックアップするための調査研究テーマ候補

① LNG 燃焼におけるメタンスリップ削減対策の調査研究

- GHG 削減シナリオの検討の結果、いかなるシナリオにおいても LNG 燃料の使用拡大が見込まれることを確認した。
- 今後、LNG 燃料の使用を拡大する上で課題になるメタンスリップについて、触媒の活用等、効果的な削減対策を調査研究する。

② アンモニア燃焼における N₂O スリップの調査

- アンモニア燃焼における N₂O の排出の実態把握と削減の可能性について調査する。

③ 代替燃料導入に必要な安全規則見直し等の調査

- 水素、アンモニア、風力推進システム、大型バッテリー、船上 CO₂ 回収システムの船舶への導入見通しを踏まえ、見直しや整備が必要となる国際基準とその作業計画を整理し、早期に対応が必要なものから順次検討作業に着手する。

④ 風力推進システムの EEDI や EEXI における認証スキームの検討

- EEDI や EEXI の中で当該システムを適切に評価する手法を検討し、IMO へ提案。

⑤ 国際 R&D 基金、MBM のあり方、具体化に向けた調査研究(日本海事センターでの検討テーマ、要調整)

⑥ EEXI のインパクトスタディー(日本海事センターでの検討テーマ、要調整)

- 本年度、日本海事センターにおいて既に実施し IMO に提出したものの、IMO において、EEXI の詳細なインパクトスタディーが要求された場合に実施を検討